

精神科看護はこのままでいいのか?! ～身体的拘束に関する判決から考える これからの精神科看護～

テーマの背景

2016年、石川県の精神科病院に入院していた患者さんが肺動脈血栓塞栓症を発症して死亡する事故が発生しました。この事故について、ご家族は病院に対して身体的拘束を違法に実施し肺動脈血栓塞栓症発症回避のための注意義務違反の過失により死亡させたとして提訴しました。一審では、身体的拘束に違法性はなく、予防措置についても弾性ストッキングの装着義務違反はあるものの死亡との因果関係は認められないとされ原告側の請求は棄却されました。

しかし、控訴審では一転して「身体的拘束時、死亡した男性は薬も拒否せずに服用していたし、一時的に人員を割くなど、医療行為を行うための代替の方法がなかったともいえない。身体拘束を認めた医師の判断は早すぎた」とされ、2021年10月19日に原告側逆転勝訴の判決が確定しました。

近年、医療・看護への期待は高まってきています。直接的なユーザーはもとより社会全体の期待の高まりにあわせて私たちの実践も当然変化しなければなりません。私たちの変化はユーザーのそれに追いついていけるのでしょうか。

身体的拘束に対する私たちの考え方や意識と社会の期待とに乖離が生じているとするならば、私たちは変わっていかねばなりません。

今年度の医療安全推進フォーラムでは、今回の裁判の争点を整理し、そこから私たち精神科医療・看護に求められていることは何かを考えていきます。

精神科看護に求められていることに変化が起こっているのか、起こっているのであれば私たちはどのように変化しなければならないのか、参加者のみなさんとともに考え、よりよい精神科医療・看護の提供へつなげていきたいと思えます。



講師

浅田 眞弓 先生(丸ビルあおい法律事務所 弁護士)

牛島 一成 先生(公益財団法人復康会沼津中央病院 看護部長)

座長

眞鍋 信一(社会医療法人北斗会さわ病院)

開催概要

日時 2022年11月25日(金)14:00～15:30

開催方法 Zoomを使用したライブ配信(一部録画をオンデマンド配信)

受講料(税込) 2200円(会員)/3300円(非会員)

定員 80名

申込期間 ~11月7日(月)16:00まで

申込方法 Webのみ 日精看オンラインよりお申込みください。

検索は「医療安全推進フォーラム」で。

(詳細は裏面へ)

医療安全推進フォーラム

お申込み方法

日精看オンライン(協会ホームページ<https://jpna.jp>)よりお申込みください。

お申込み受付、受講承認後、研修会のご案内(インフォメーション)と郵便振替用紙をお送りいたしますので、指定期日までに受講料をお振込みください



日本地図をクリックし、ページの最下部の「研修会を条件から絞り込む」でタイトルのキーワードを入れて検索すると便利です

検索は「医療安全推進フォーラム」で。



QRコードからも申込画面へアクセスできます。



Zoomへのアクセスはクラウドキャンパスを使用します。受講前にオンライン研修の受講方法をご確認ください。

オンライン
研修会の受講方法

お問い合わせ

一般社団法人日本精神科看護協会 研修担当

TEL 03-5796-7033 平日8:00~17:00